令和８年度　　堅田高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・基礎的な学力の定着と発展的な学力の伸長を図る。
・一人ひとりの希望に応じた進路指導の充実を図る。
・明るく健全な学校生活が送れるよう支援する。
・地域の一員として地域に貢献する態度を養う。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	学校は「受けとめよう生徒の心　伝えよう教師の熱意」を実践している。	A		
	学校は地域に根ざした学校づくりを推進している。	A		
2　学習指導	学校は落ち着いた秩序ある授業を行っている。	A		
	学校は生徒に「わかる授業」を行っている。	A		
	生徒は基礎的な学力を身につけている。	A		
	学校は公正・公平な学力評価をしている。	A		
3　生徒指導	生徒は身だしなみを整えている。	B		
	生徒は始業・集合などの時間を守っている。	A		
	生徒は挨拶を励行している。	B		
	学校はいじめの未然防止等に関する意識を高める指導を行っている。	A		
4　進路指導	学校は生徒の勤労観・職業観を育成している。	B		
	学校は生徒一人ひとりに応じた進路指導を行っている。	A		
	学校は進路に関する情報を生徒や保護者に提供している。	A		
5　特別活動等	生徒は部活動に積極的に取り組んでいる。	A		
	生徒は学園祭に積極的に取り組んでいる。	A		
6　学校図書館	学校は生徒の読書活動を啓発している。	B		
7　保健・安全指導	学校は生徒の健康管理と病気の予防に努めている。	A		
8　人権教育	学校はＬＨＲなどをとおして生徒の人権意識を高めている。	A		
	学校に生徒一人ひとりの心の居場所がある。	A		
9　環境教育	学校は日常の掃除をとおして生徒の美化意識を高めている。	A		
10　事務・管理	学校は省エネに努めている。	A		
11　その他 学校の取組	学校は生徒の安全・安心を確保している。	A		
	学校は保護者等の来校や電話にていねいに応対している。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。
ただし、アンケートの結果等を機械的にＡＢＣＤの評価に置き換えるのではなく、学校の現状を真摯に分析・検討し、今後の学校改善につながるよう、適切に評価すること。

学校のＵＲＬ：　https://www.katata-h.shiga-ec.ed.jp/